

令和4年度 第4回春日区地域協議会 次 第

日時：令和4年7月20日(水) 午後6時30分から

会場：上越市役所 401 会議室

全体会 + 分科会 = 2時間10分

1 開 会

【2分】

2 あいさつ

【3分】

3 議 題

(1) 協議事項

① 今後の春日山観光における通年観光の取組について 【30分】

② 春日山荘における趣味講座の移転への対応について 【15分】

[状 況] ・担当課で受講生を対象に意見交換会や現地見学会を開催し、移転についてすべての講座から了承を得ている。

[制 度] ・趣味講座は全市民対象のため、講座移転そのものについて特定の地域協議会で審議できない。

・春日山荘は上越市社会福祉協議会の施設であるため、施設の存廃について市で決定できない（提言の対象にならない）。

[対応案] 上記を踏まえ、今回の報告に基づく特別な対応は行わない。

(2) 自主的審議事項

〔 ・ 春日山城跡の観光振興策について (観光分科会)
・ 安全・安心に暮らせる春日区とする方策について (安全・安心分科会)
・ あらゆる世代が心豊かに暮らせる春日区とする方策について (福祉分科会) 〕

○ 各分科会における審議の状況について 【20分】

(3) その他

4 そ の 他

(1) 次回開催日の確認 【5分】

➢ 日時 令和4年 8月 日(火) 午後6時30分から

➢ 会場 上越市市民プラザを予定

➢ 内容 (自主的審議事項) 各分科会における審議の状況について

※ 閉会后、分科会を開催

(2) その他

5 閉 会

(閉会后)

■ 7/20(火) 分科会 ■

・ 分科会の会場 ⇒ 3分科会とも401会議室で行う。

・ 分科会の開催時間は約50分。(審議終了は8時40分を目途とする。終了した分科会から随時解散)

春日区地域協議会 観光分科会自主審議工程表


作成: 2022年 4月 6日
改訂: 2022年 6月 26日




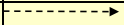
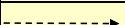
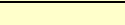
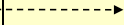
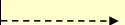
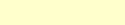
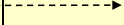
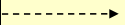
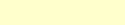
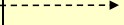
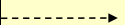
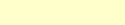
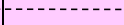





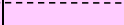
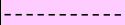


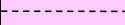

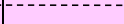


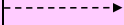


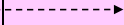


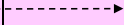


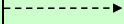


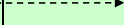
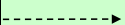

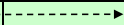
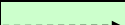

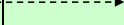
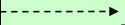
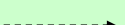

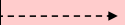




	令和3年度			令和4年度						
	第3Q(10月~12月)	第4Q(1月~3月)		第1Q(4月~6月)	第2Q(7月~9月)		第3Q(10月~12月)		第4Q(1月~3月)	
1. 分科会開催	10/2 11/2 12/1	1/1 2/14 3/22		4/19 5/17 6/21	7/20 8/16 9/20		10/1 11/1 12/2		1/17 2/21 3/21	
2. 資料研修	資料から春日山城跡の保存状況学習 → フィールドミュージアム構想			専門家からの講義		<ul style="list-style-type: none"> ・文化行政課に学んだこと ①これまでの春日山城跡の保存管理状況 ・観光振興課から学んだこと ①これまでの観光振興策 				
3. フィールド研修	テキスト: ①春日山城跡における今後の保存管理及び活用について ②上越市の観光の現状と課題を踏まえた今後の方向性について			春日山城跡、監物堀等視察(6/11)		春日山城視察で学んだこと ①山の杉が伐採され景観がよくなっている。 ②春日山城の各所の案内看板や本丸に至るルートへの矢印や案内看板が少ない ③本丸へ至る道の本製階段の段差が大きすぎて歩きづらい。				
4. 関係団体との交流				長野県松代城、上田城等観光地視察(8月以降か?)		春日山城跡保存整備促進協議会と交流会(7月頃希望)				
5. 春日山観光振興の具体策立案				春日区町内会長連絡協議会と交流会		上越市観光コンベンション協会と交流会				
				金谷区地域協議会と交流会						
				上越エリアを含む春日山通年観光5年マスタープラン作成:上越地域観光連携宿泊プラン→上越市内日帰り観光→お城巡り→春日山周辺観光(謙信公祭を新潟県規模に、春日山フラワーガーデン化、春						
6. 備考	<ul style="list-style-type: none"> -各種資料や経験から学んだこと ①春日山城は図面がなく復元はほぼ不可能。 ②城の保存エリアの発掘が進まず、監物堀等の復元が部分的で十分活用されていない。 ③保存地域の草刈りなど維持が大変。 ④春日山観光振興策を立案するが実施事例少ない。 ⑤上越市から県や国への働きかけがなく消極的。 ⑥春日山観光振興に熱意のあるキーマンがいない。 ⑦過去のNHK大河ドラマで観光客が増加し交通渋滞などで地元が迷惑を被った。 ⑧謙信公祭が春日山周辺に限定されている。過去 			春日山周辺観光振興策(例) ①道路、駐車場のインフラ整備をし、観光客が増えることでの交通渋滞防止を図る。 ②物産センター、謙信館、小川未明文学館の設置で通年観光の拠点に。 ③従来の春日山ウォーキングマップ改訂と仮想空間「戦国春日山城」をスマホで。 ④上越地域主要観光拠点と連携する周遊マップ作製、スタンプカードで景品提供。 ⑤「塩送りサブレ、プリン」など名産品開発。(前期分科会は青苧入りかまぼこ) ⑥春日山城の復元が不可能であれば、四季を通じて草花を楽しめるフラワーガーデン化し、地元の市民も楽しめる謙信春日山フラワーガーデン「KKG」をアピールする。 春日山にカキツバタや紫陽花、山桜、ササユリを植えてフラワーガーデン化。 ⑦春日山神社に甲冑姿の武者を配置して一緒に記念撮影や見所案内をする。 ⑧観光客が春日山周辺で楽しい食事ができるグルメツアー網の整備を。 ⑩春日山城下に栄えた商業都市を復元し春日山楽市楽座を想像し創設する。		春日山周辺観光振興策まとめ 関係団体と調整 市長への意見書まとめ				

春日山観光振興マスタープラン(案)

別紙2

作成:2022.年6月26日
春日区地域協議会観光分科会

実 
計 

項目	2022年 作成	2023年	2024年	2025年 見直	2026年	2027年	2028年 見直	2029年	2030年	2031年	2032年
マスタープラン作成、改訂											
1. 市民が憩える春日山に											
①春日山周辺の車道、駐車場、トイレ、休憩所整備、春日山神社から本丸への段々道の段差改善や玉砂利敷設											
②春日山駅前の隣街交流館に観光案内所やレンタサイクル設置、春日山周辺に案内看板充実											
③春日山駅前や埋蔵文化財センター、春日山、林泉寺、ものたり館等へのサイクリング、遊歩道、古道整備											
④大手道から春日山神社へカート道路整備、春日山神社から本丸へ山の裏側にモノレール設置											
2. 史跡保存をしつつ観光施設整備、春日山の公園化、イベント開催											
①監物堀延長復元や春日山を戦国フラワーガーデン化(例)監物堀カキツバタ、大手池堤防:紫陽花、春日山周辺に山桜や雷禰、カエデなどを植栽											
②春日山駅前や埋文センターでの「隣街市」定期開催											
③武将隊や一義会が春日山神社周辺で観光客との記念撮影や社務所等で武具の着付けサービス											
④春日山周辺でバーチャルゲームなどのイベント開催 古道散策会やオリエンテーリングなどの定期開催											
⑤埋蔵文化財センターの観光ビジターセンター化、埋蔵文化財は歴史博物館か廃校再利用し移転											
⑥春日山周辺の休憩、飲食、土産販売施設の連携、充実											
⑦隣街公の誕生日の1月21日や命日の3月13日か毎月その日に春日山神社周辺でイベント開催											
⑧水族館などとの連携し観光物産センターの分散配置											
3. 春日山周辺の景観改善											
①上越妙高駅や春日山駅、春日山周辺道路にのぼり旗設置と維持管理											
②春日山町屋の景観改善:案内看板設置、住宅のマスクング											
③春日山東西の杉林の更なる伐採により春日山城の輪郭をはっきりさせ、山城の歴史跡再現を図る											
④監物堀の発掘を進め、堀だけでなく土塁の復元も図る。											
4. 春日山観光振興の人材育成											
①行政、民間の観光専門スタッフの採用、育成											
②フィールドワークを主とした歴史講座を定期開催し、観光ボランティアの育成を図る。											

地域を元気にするために必要な提案事業 事業提案書

春日区地域協議会では、平成26年から春日区の町内会長連絡協議会と情報交換会を開催し、地域の問題点などの情報交換を行ってきました。この情報交換会は春日区が抱える問題などの情報を共有し、春日区地域協議会の自主審議のテーマを絞り込んできました。

自主審議のメインテーマは第2期の地域協議会で平成28年頃に3つのテーマに絞り込まれ、その中に春日山観光振興が選ばれました。第3期の春日区地域協議会でも自主審議が進められ、春日山観光分科会は具体的な観光振興策として青苧を使った名産品作りに取り組みました。その結果青苧を練りこんだかまぼこを試作しました。

第4期の春日山観光振興分科会は、令和3年の10月から令和4年度末までの活動計画を作成し、前半は主に春日山観光について過去の観光振興の取り組みを調べ、市の担当課から過去の春日山城跡の保存活動と観光振興策について教示を受けました。

また春日山城跡周辺を視察し、史跡の貴重な遺構の魅力を知ることができました。今後も春日山城跡保存整備促進協議会や町内会長連絡協議会と協議を重ねて更なる観光振興策のレベルアップを図る予定です。

そして令和4年の7月以降から春日山観光振興策の具体的な検討と提案書の作成を始めます。そのため具体的な施策に時間軸を加えた5年間の観光振興マスタープランを作成しています。春日山観光についての学習を深めながら、随時改訂を行っています。

今回の提案は令和3年度から取り組んできた活動の成果をまとめ、令和5年度以降の事業に反映するための具体的な事業提案「春日山観光振興事業」を「地域を元気にするために必要な提案事業」として提案いたします。

◎事業概要 別紙のとおり

◎市への具体的なお願い事項

- ・各事業実施にあたって、市担当課の主体的な取り組みと支援
- ・「春日山観光振興事業」のために必要な運営費及び事業費の補助

令和 年 月 日

春日区地域協議会

会長 ○ ○ ○ ○

上越市長 ○ ○ ○ ○ 様

事業概要書

事業名	春日山観光振興事業
事業の目的	<p>上杉謙信の居城として知られる春日山城は全国屈指の山城として知られている。この春日山城の魅力を市民がまず理解し、市民が憩える公園にすることを第1の目的とする。</p> <p>また全国、さらに全世界の観光客が春日山城に来ていただくためのインフラを充実させることにある。</p>
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市民が憩える春日山フラワーパーク整備 春は春日山の山桜、6月～7月はものがたり館の監物堀や大手道入り口のカキツバタ、大手池のアジサイ、秋は春日山のモミジやイチョウの紅葉のように、史跡保存エリアを有効活用して春日山全体をフラワーパーク化して通年で市民や観光客が散策しながら楽しめる環境を整備する。 2. 春日山周辺の古道や散策の道の整備 春日山神社から本丸へ至る道の段差が大きく歩きにくい。また山全体が粘土質で、雨でぬかるむ問題がある。子砂利を敷いてある部分もあるが十分ではない。 まだ未整備の古道も含め、子供や老人でも歩きやすい歩道の整備を行う。 3. 春日山各所の案内看板等の充実 武将の館跡や春日山の特徴となる遺構の解説をした看板の充実が必要である。 4. 春日山周辺の衛生設備の充実 春日山神社周辺には小規模なトイレしかなく、山頂付近にトイレがない。バイオトイレなどの設置が必要である。(春日山神社に上がる階段の下の駐車場にはトイレはあるが神社にいる観光客からは遠い。)

<p>事業概要 (つづき)</p>	<p>5. 埋蔵文化財センターを観光ビジターセンターに 埋蔵文化財センターの利用目的を春日山観光に絞り、資料や宝物展示の他、土産物売り場、休憩飲食エリアの充実を図る。発掘された埋蔵文化財は廃校となった子猿屋小学校跡などに移転する。</p> <p>6. 大型観光バスの駐車場と道路整備 春日山付近には大型観光バスが待機できる十分な駐車場が無く道路も狭い。 春日山の麓にある春日山旅館の東側に広がる荒地は、昭和45年前後に団地の埋め立て土砂を掘り出した後で、ここを大規模な駐車場として整備する。 春日山城の一角であったがすでに破壊され放置された土地なので有効活用を図る。 その他林泉寺や愛宕谷公園の駐車場拡充や春日山周辺の道路拡幅が必要である。</p> <p>7. 謙信公祭以外の賑わいの場創設 楽市楽座を模した定例開催のフリーマーケットやトラック市などを春日謙信交流館、埋蔵文化財センターなどで開催する。この2か所であれば雨天でも室内での開催が可能である。 また上杉謙信の命日に小規模なイベントを埋蔵文化財センターや春日山神社周辺で毎月実施する。</p> <p>8. 観光ガイドや上杉軍の観光サービス充実 上越観光コンベンション協会と連携して、観光ガイドの充実を図る。また春日山神社を訪れる観光客に対し、武将隊や一義会のメンバーが武具を装着して記念撮影などに応じて観光客サービスを充実させる。</p>
-----------------------	---

福祉分科会 審議状況の整理（途中経過）

（令和4年7月13日現在）

テーマ	あらゆる世代が心豊かに暮らせる春日区とする方策について	
背景	春日地区は人口増となっているが、他地域（中山間地域等）からの人口移動で増加しているため、アパートやマンションの入居者が多く、地域の行事等（伝統的なもの）に関心がない世帯が多くなっている。 [留意事項]… 情報伝達(全員に届かない)、協力意識(帰属意識と愛着)、多様な価値観(関わりを好まない人)、実態調査結果*1 *1 実態調査において、「町内会活動に参加する人が少ない」との意見が多くあった。	
案	1	2
審議の方向	音楽活動を通じた地域の活力向上 (地域と学校を音楽で結ぶ文化事業) ・「ふれあいコンサート」はこれまで16回開催されており（いきいき春日野主催）、地域に浸透してきている。 ・「ふれあいコンサート」を春日地区全体の活動にする。	健康づくり活動を通じた地域の活力向上
主な目的・効果	・(目的) あらゆる世代が心豊かに暮らせる音楽文化の春日区を目指す。 ・住民相互の交流を深めるため、地域と学校を音楽でつなぐ。文化的要素を含めて地域の活性化を目指す。 ・音楽を通じた共通の活動は、小学生、中学生及び大学生の音楽活動への取組意欲を高める。また、保護者及び高齢者には活動参加の機会が創出される。 ・町内会活動の活性化につなげる。	・(主に高齢者を対象) ニュースポーツを通じた交流の促進が期待できる。 ・活動内容を多様化することで、様々な年齢層の方の健康増進や交流促進への効果が期待できる。 ・町内会活動の活性化につなげる。
その他効果	・春日区の音楽文化レベルの向上と地域交流に寄与できる。 ・小・中学生と教師を目指す大学生が、合同コンサートを通して地域で学び合う機会が生まれている。	・参加者の健康増進が期待される。
ポイント	・学校の課外活動や音楽部等と地域の協力による音楽活動の拡大を通じて、参加者相互のコミュニケーションを図る。 ・(対象) 音楽活動に取り組む小中学生・大学生及び住民 ・「いきいき春日野ふれあいコンサート」も参考とする。 ※春日区全体の開催とするため、名称を「いきいき春日ふれあいコンサート」として開催（関係団体の了承が必要）	・スポーツを通じた健康づくり活動の拡大を通じて、参加者相互のコミュニケーションを図る。 ・(対象) 高齢者中心 または 幼児から高齢者までのあらゆる世代の住民 ・町内会館など身近な場所で高齢者が楽しめる「場」をつくる。 ・市の既存の制度・仕組み等の活用しながら、ニュースポーツや綱引き等既存の種目の普及等を行う。 ・町内会の実情（会館の広さや年齢構成等）に応じ、適した種目を選択してもらう。
将来的な活動の担い手	・将来的には町内などに担当者を置き、区全体で活動できる体制を構築 ・春日区全体のまちづくり活動とするため、各団体とともに実施体制をつくる（春日地区町内会長連絡協議会等、学校、自主活動団体、教育委員会等の公的機関）。	・将来的には町内などに担当者を置き、区全体で活動できる体制を構築 ・当初の活動の中心は町内会単位とし、既存の制度をつなぐ事で、まず体験会の実現を目指す。 ・先の目標として、区全体の大会を開催する（町内会長連絡協議会等の主催）。
実現の手法	・(健康教室のように) 町内会館等で音楽活動を行う（音楽活動を行う児童・生徒、学生を中心に行う）。 ・年間を通じて演奏機会をつくる（敬老会、その他）。 ・区全体の発表会を開催する（町内会長連絡協議会等の主催）。	・町内会等を単位としたスポーツ講習会等を開催する。 ・講習会等開催後、各町内会等で継続的にスポーツに取り組む。 ・市の既存の制度・仕組み等の活用 ※ニュースポーツの普及事業の活用 … 器具の貸し出し、講師派遣 ※身近な体育施設（総合体育館・身障者体育館）に綱引き用の綱を常設してもらい練習機会を提供 ・市主催の「綱引き大会」などに参加できるような環境づくりを進める。
課題	・企画の立案（実施内容の精査、スケジュール、所要額） ・各町内会の理解と主体的な協力の取り付け ・児童・生徒・学生、保護者及び学校の理解と協力の取り付け	・企画の立案（対象者の絞り込み、実施内容の精査、スケジュール、所要額） ・各町内会の理解と主体的な協力の取り付け
対応策	・市による予算措置（元気事業もしくは地域独自予算）に向けて地域協議会から事業提案を行う。	・